

Pray for Ukraine

～双葉町から願う平和のコンサート～

東日本大震災と原発事故による避難を余儀なくされた人々を音楽の力によって支援して下さったウクライナ出身のバンドゥーラ奏者カテリーナ・グジーさん。故郷ウクライナが戦火に見舞われる中、ご家族がカテリーナさんの住む日本に避難をされてきました。

あの時いただいたご支援に少しでも恩返しをしたいと気持ちをお伝えしたところ、6月25日にカテリーナさんご家族を双葉町にお招きして平和を願うチャリティコンサートの開催ができることになりました。ぜひ多くの方にコンサート開催及びウクライナへの寄付をお願いできたらと思っています。



日時：6月25日(土) 13:30-14:30

場所：双葉町産業交流センター

内容：カテリーナさんのバンドゥーラ演奏、
お母様マリヤさんのウクライナでの体験談



『カテリーナ・グジー』

ウクライナ・プリピャチ生まれ（チェルノブイリ原子力発電所から2.5kmの町）。生後30日でチェルノブイリ原発事故に被災。6歳の時に、事故で被災した子どもたちによる歌舞団「チェルボナカーナ」に入団。以来、海外公演に多数参加してきた。日本招聘の折、日本の素晴らしさに感動し、19歳で音楽活動の拠点を東京に移す。ウクライナの民族楽器バンドゥーラを弾きながら、ウクライナ民謡からイタリア歌曲、日本のポップスまで幅広いジャンルを歌う。一児の母。

2014年のクリミア半島併合時には、横浜で在日のウクライナ人と一緒に、ロシア人も招き「ウクライナ祈りの日」を主宰。文化交流を軸に、最近はウクライナ料理とミニコンサートのタベなども開催している。

今回のロシア軍のウクライナ侵略以降、放送局に泊まり込みでウクライナからの情報の翻訳に従事。キーウで一人暮らしだったお母さんが、日本に避難してきている。

～開催経緯と寄附のお願い～

2011年3月11日の東日本大震災と原子力発電所事故。故郷を追われ避難していた私たちの事を想い、カテリーナさんの澄みきった歌声とバンドゥーラの音色で、心を癒やしてくれた横浜での追悼イベント。

それはいつまでも忘れぬことのできぬ心穏やかな時間で、イベントの司会を務めていた私は仕事にならぬほど、感動して涙していました。

そんな時間をくれた彼女の故郷が戦火に見舞われ、心配に想っていたところ、テレビで彼女が紹介され、ご家族が日本に避難されてきたことを知りました。居ても立っても居られなくなった私は、すぐにあの時のイベント主催者の方に連絡をとりました。

大変な中、私の想いを受け取っていただき双葉町までお越しいただけること、本当に嬉しく思っています。今度は私があの時のような心穏やかな時間を少しでも作れたらと思っています。コンサート開催及びウクライナへの支援にご協力をいただけたら幸いです。



発起人 山本敦子 (Tel 090-7794-4569 / mail kamm4211@icloud.com)